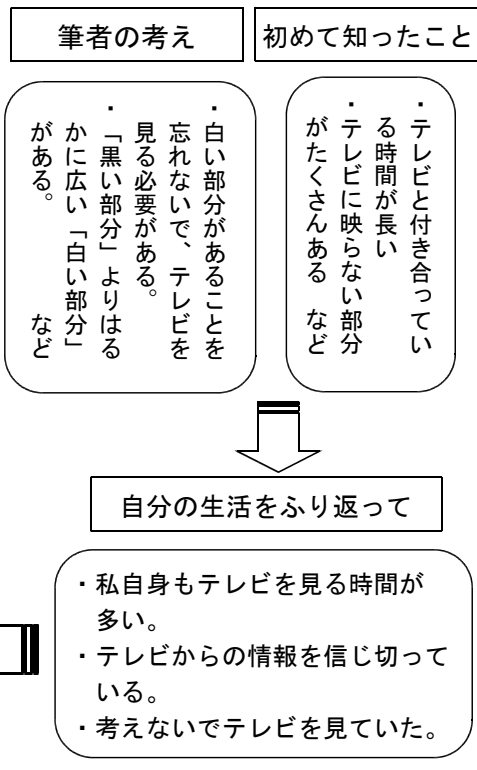


メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう
めあて

「テレビとの付き合い方」を読んで、感想を交流し、学習計画を立てよう。



メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう

学習 2			学習 1					
意見文にまとめる			「テレビとの付き合い方」を読む					
9	8	7	6	5	4	3	2	1
意見文を交流し、考えを深める。	メディアについて意見文にまとめる。	自分で選んだメディアについて構成メモを作る。	写真との付き合い方をまとめる。	本論部分の筆者の考えを読み取る。	本論部分の内容を整理する。	序論部分と結論部分の内容を整理する。	文章構成を確認する。	学習課題を決定する。

【1 / 9時間目 指導路案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」①
本時のねらい

アンケートの結果や初発の感想を基に、学習課題を決定し、読みの見通しをもたせる。

※ 「事前アンケート」を使って、メディアとの関わりについて事前調査を実施しておきます。

※ アンケートの結果については、グラフや表にして、広用紙や電子黒板を利用して提示します。

1 アンケートの結果を見て話し合う。

○ メディアとの関わりについてのアンケートの結果を見ながら、テレビなどのメディアに依存している傾向にあることを確認させる。

※ 自分たちの現状を把握した上で、教材文を読むことで、児童に読みの必然性をもたせることができます。

2 「テレビとの付き合い方」を読み、感想を書く。

○ 「初めて知ったこと」「筆者の考え」「自分の生活をふり返って」などの視点で感想を書かせる。

※ 昼休みの校庭の様子を撮った写真を電子黒板に提示して、部分的に示したり、全体を示したりすることにより、「黒い部分」「白い部分」という言葉の意味の理解を深めさせます。

3 感想を全体で交流する。

○ 筆者は、テレビと付き合う際の注意点についての意見文を書いていることを確認させる。

○ 自分の生活を振り返って改善していく点もあることを感じ取らせる。

※ 筆者の考えと自分の現状を比べながら話し合いを進めることで、学習課題を決定していく際の動機付けとします。

※ メディアと関わっていく際の意識の向上も必要であるということを感じ取らせませす。

4 単元のめあてや学習の流れを確かめる。

○ メディアと私たちの関わりについての意見文にまとめるという学習課題を決定する。

※ 学習課題を解決するために、筆者の意見の述べ方の工夫についても読み取る必要があることを補足します。

○ 学習課題を解決していくための計画を立てさせる。

○ 意見文を書くための題材選びをしておくよう伝える。

○ 評価 メディアと私たちの関わりについて関心をもち、積極的に話し合おうとしている。

(関)

5 本時の学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

○ 次時は、文章構成について読み取っていくことを確認する。

メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう
めあて

文章構成を考えよう。

文章構成表

結論	本論		序論	構成
	本論 2	本論 1		
⑦	⑥ ⑤	④ ③	② ①	形式段落
筆者の主張	具体例	筆者の意見	話題の提示	小見出し

【2 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」②
本時のねらい

- ① 序論・本論・結論のまとまりを考えさせ、文章全体の構成を理解させる。
- ② 内容や接続語などに注意して、本論部分を筆者の意見と具体例の部分に分けさせる。

- 1 学習計画表を見て、本時の学習内容とめあてを確認する。
- 本時は、文章構成について読み取っていくことを確認させる。

- 2 文章構成表を見ながら、本文を序論・本論・結論に分ける。

- ※ 教材文を一枚の用紙に印刷しておく、教材文の全体を見ることができ、児童にとつて分かりやすいでしょう。
- まず、形式段落に分けさせる。
- 文章構成表を提示し、それを基に、序論・本論・結論のまとまりに分けさせる。
- ※ 既習教材で学習していることを想起させ、説明的な文章の構成について振り返らせるとよいでしょう。
- 各まとまりに書かれているおおまかな内容や接続語について、児童と一緒に話し合いながら確認する。

- 3 本論部分の四つの段落を筆者の意見が書かれている部分と具体例が書かれている部分に分ける。
- ※ 「しかし」「このことを」「もつと」などの言葉を手掛かりに意見の部分③④段落、図と具体例の部分⑤⑥段落に分けさせます。

評価 文章全体の構成を理解している。

(言イ(キ))

- 4 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。
- 次時は、筆者の意見の述べ方の工夫(説明の技)と筆者の主張について読み取っていくことを伝える。

メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう
めあて

序論と結論から、筆者の説明の技と筆者の主張を読み取ろう。

序論

グラフから読み取ったこと

教科書 103 ページの
グラフを提示

- ・テレビを見る時間が一番長い。
- ・ラジオや新聞は少ない。
- ・役に立つメディアの中ではテレビが一番多い。

筆者の説明の技①

グラフの使用

効果

色や数字で表されているので、分かりやすく説得力が増す。

結論

筆者の主張

わたしたちは、伝えられる映像の外にある部分をわすれないようにしながら、テレビと付き合う必要がある。(四十九字)

筆者の説明の技②

問いかけ

(〜ではないでしょうか。)

効果

読者自身が考えるようになる。

【3 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」③
本時のねらい

- ①筆者の意見の述べ方の工夫(説明の技)を読み取らせる。
- ②文章構成表を基に、筆者の主張を読み取らせる。

1 学習計画表を見て、本時の学習内容とめあてを確認する。

- 本時は、序論部分を読み取った後、本論部分の構成について考えていくことを確認させる。

2 序論部分を読み、グラフの内容について話し合う。

- グラフから読み取ったことを基に、アンケートの結果も絡ませながら、テレビが最も身近なメディアであることや、その影響力などについても意見を述べさせる。

※ 筆者の主張部分「テレビと付き合っていく必要がある」という表現から、「どうして筆者は、このように言っているのか」と投げ掛け、序論部分にそのきっかけがあることを押さえながら序論部分の読み取りに入ります。

3 筆者の意見の述べ方の工夫(説明の技)について考える。

- 筆者の意見の述べ方の工夫(説明の技)として、グラフを用いた意図や、どのような効果があるのかについて考えさせ、ワークシートに記入させる。

評価 ①筆者の意見の述べ方の工夫(説明の技)として、グラフを用いていることを捉え、その効果を読み取っている。(読ウ)

4 文章構成表を基に、筆者の主張をつかむ。

- ⑦段落の二文を比べて考えさせる。
- 筆者の主張を五〇字以内でまとめさせる。

※ 後の文中にある「白い部分」という表現に疑問をもつ児童が出てくることも予想されるので、前の文の「映像の外にある部分」と置き換えて考えさせることにより、本論の学習も意識させます。

評価 ②筆者の主張を読み取っている。(読ウ)

5 筆者の意見の述べ方の工夫(説明の技)について考える。

- 筆者の意見の述べ方の工夫(説明の技)として、読者への問い掛けの形で終わっていることについても考えさせ、このことからメディアとの関わり方を考えていくことが必要であることを押さえる。

6 学習を振り返り、次時の学習に見直しをもつ。

- 次時は、図の「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉について考えていくことを伝える。

メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう
めあて

「黒い部分」と「白い部分」が表しているものを考えよう。

○ 「黒い部分」と「白い部分」の意味を整理しよう。

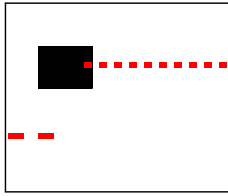
黒い部分

テレビカメラが切り取る部分。すべてであるかのような錯覚さつかくにおちいる。

白い部分

黒い部分よりもはるかに広い。その存在をわすれがちになる。(報道されなかった事実の部分)

○ 本論部分の他の段落を読んで、「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を見つけよう。



白い部分

- 世界中の出来事や動き
- 実際の出来事にくまられるぼうだいな量の情報
- さまざまな出来事

など

黒い部分

- テレビの送り手が集め、選び、編集して届ける情報
- ほんの一部
- だれにでも受け入れてもらえそうな、そのごく一部

など

【4 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」④
本時のねらい

「黒い部分」と「白い部分」の図に当てはまる文章中の言葉を読み取らせる。

1 前時の学習内容を振り返りながら、学習計画表で本時の学習とめあてを確認する。

○ 本時は、「黒い部分」と「白い部分」の図の意味を理解し、それぞれに対応する文章中の言葉を整理していくことを確認させる。

2 「黒い部分」と「白い部分」の図の意味を理解する。

○ まず、図の意味をしっかりと理解させるために、⑤段落に限定して読ませ、「黒い部分」と「白い部分」の説明に当てはまる箇所を見付けさせ、全体で確認する。

3 ③④⑥段落より、「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を書き出す。

○ それぞれに当てはまる言葉をマーカーしながら本論部分を読ませる。

※ マーキングや付箋は、それぞれ黒と白に対応する色を用意します。

○ 付箋に書き出した言葉を、ワークシートの図に整理して貼らせる。

※ まとまりを考えて、分かりやすく貼っていくように助言します。

○ 学級全体で交流し、確認させる。

評価 図の意味を理解し、「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を読み取っている。(読む)

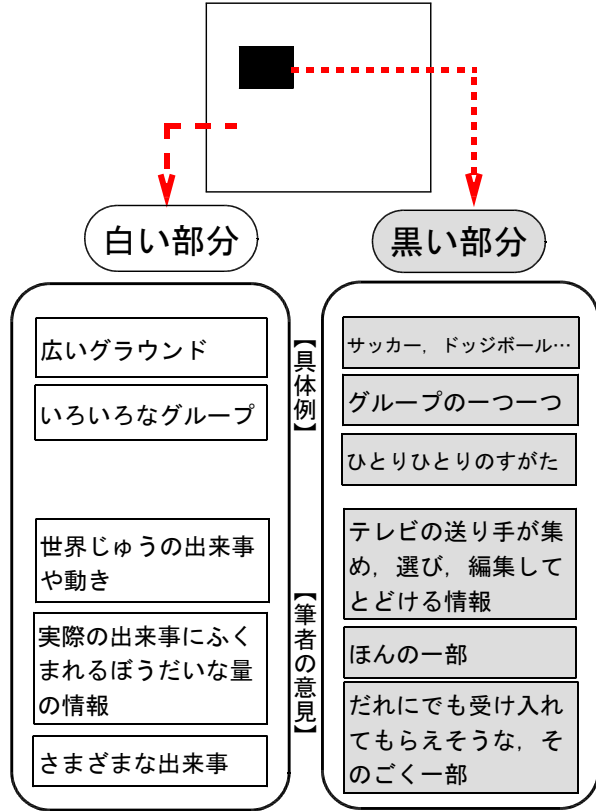
4 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

○ 次時は、筆者の考えや意見の述べ方の工夫(説明の技)について考えることを伝える。

※ みんなで見付けた「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を、短冊に書いて準備しておくとき時に便利です。

メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう
めあて

本論部分を読み取り、筆者の説明の技について考えよう。



○ 筆者が図を使って伝えたかったことをまとめよう。

わたしたちはテレビを見るだけで分かったつもりになるが、テレビからとどけられる情報はほんの一部であり、報道されなかった事実の中には、もっと重要な情報もたくさんある。

筆者の説明の技③ 図や具体例を用いる

効果 自分の考えを読者になっとくさせ、より分かりやすく伝えることになる。

筆者の説明の技① グラフの使用

筆者の説明の技② 問いかけ

【5 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」⑤
本時のねらい

「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を整理し、図や具体例を用いている筆者の意見の述べ方の工夫（説明の技）を読み取らせる。

1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。

○ 前時に書き出した「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を確認しながら本論部分を読ませる。

○ 前時までに見付けた筆者の意見の述べ方の工夫（説明の技）を振り返り、想起させる。

2 「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を整理する。

○ みんなが見付けた「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を、話し合いながら整理させる。

※ 児童のワークシートを事前にチェックしておき、あらかじめ短冊に言葉を書き出し、状況に応じて補足説明します。

○ 黒か白かを考えさせ、最初に発表した児童に実際に黒板で操作させ、話し合いながら整理させる。

※ 「黒い部分」と「白い部分」との対応関係や具体例と筆者の意見のまとめりについては、その区別が分かるように教師と一緒に分類していきます。

※ 「サッカーやドッジボール、おにごっこ、なわとび」という表現は個々を見れば「黒い部分」に当てはまりますが、文章の流れからは、「白い部分」とも取れるので、状況に応じて補足説明します。

3 筆者が「黒い部分」と「白い部分」の図を使って伝えたかったことをまとめよう。

※ 整理した「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる言葉を参考にまとめさせます。必要があれば「錯覚」「見えなくなる」などの言葉を使ってもよいことを伝えます。

4 筆者の意見の述べ方の工夫（説明の技）について考える。

○ 筆者の意見の述べ方の工夫（説明の技）として、筆者が図や具体例を用いた意図や、それにはどのような効果があるのかについて考えさせる。

※ 自分の考えを納得させたり、より分かりやすく伝えたりするために、図やグラフを用いていることを押さえます。

5 筆者の意見の述べ方の工夫（説明の技）についてまとめる。

評価 筆者の意見の述べ方の工夫（説明の技）として、図や具体例を用いていることを捉え、その効果を読み取っている。（読ウ）

6 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

○ 次時は、資料部分について読み取っていくことを伝える。

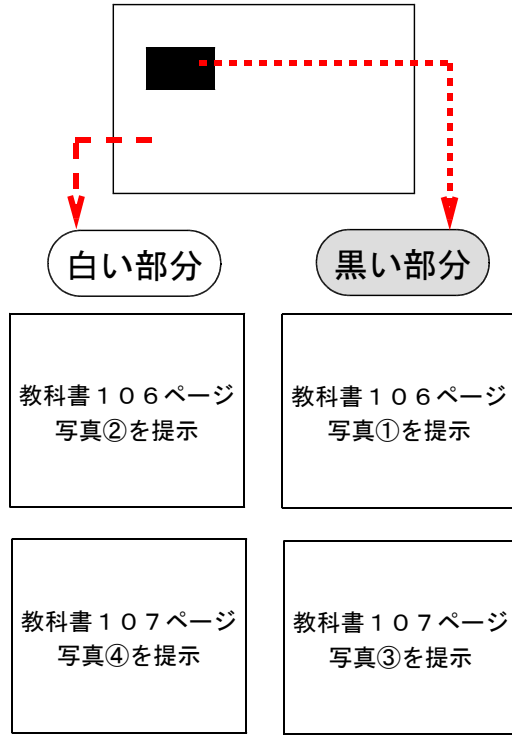
メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう
めあて

資料「写真の伝わり方」の内容を、「黒い部分」と「白い部分」を使って説明しよう。

筆者が伝えたかったこと

このように 同じものの写真であるにもかかわらず、どの角度から見るか、どの部分を切り取るかによって、ずいぶんと伝わるイメージは変わる。

○「写真の伝わり方」の内容を図や写真を使って説明しよう。



○「テレビとの付き合い方」「写真の伝わり方」に共通して言えること
黒い部分は 一部 を表していて、
白い部分は 全体 を表している。

【6 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」⑥
本時のねらい

資料「写真の伝わり方」から筆者の考えを読み取り、図や写真を使って説明させる。

1 前時の学習を振り返りながら、学習計画表で本時の学習内容とめあてを確認する。
○ 本時は、資料「写真の伝わり方」の内容を、「黒い部分」と「白い部分」の図を使って説明することを確認させる。

2 資料「写真の伝わり方」を読み、筆者の考えを読み取る。
○ 筆者が資料「写真の伝わり方」で伝えたかったことを読み取らせる。
○ 「このように」という言葉に着目させ、具体例（写真の説明）が書かれている部分と筆者の考えが書かれている部分に分けさせ、その考えを読み取らせる。

3 「黒い部分」と「白い部分」の図を使って内容を説明する文章を書く。
○ 四枚の写真を「黒い部分」と「白い部分」に当てはめて考えさせ、二つの言葉を使って説明させる。
※ 発表の際には、必要に応じて提示した写真を児童に移動させながら発表させます。

4 書き上げた説明する文章を交流し、書かれている内容をまとめてみる。
○ 各自で書いた文章を基に、図や写真を使って発表させ、書かれている内容を確認させる。

5 筆者の考えの一般化を図る。
○ 「テレビとの付き合い方」と資料「写真の伝わり方」から、筆者の考えの共通する部分を考えさせる。
※ 共通して言えることを一文にまとめたもののキーワードを考えさせます。

評価 筆者の考えを読み取り、図や写真を使って説明している。
(読ウ)

6 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。
○ 次時は、自分で選んだテレビ番組やコマースシャル、新聞、雑誌、広告、インターネット等について、意見文にまとめるためのメモを作成することを伝える。
※ 意見文にまとめるための題材（番組等）について確実に用意ができていますか確認しておきます。

メディアとわたしたちのかかわりについて考えよう
めあて

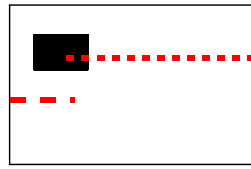
意見文にまとめるための構成メモをつくらう。

構成メモ

○ 題名

○○○○○とかかわり方

○ 選んだメディアの持ちよう



「白い部分」 「黒い部分」

○ 自分が考えたこと（意見）

【7 / 9 時間目 指導略案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」⑦
本時のねらい

自分が選んだメディアや身の回りの情報について、図の「黒い部分」と「白い部分」に当てはまるものを考えさせる。

1 前時の学習を振り返りながら、学習計画表で本時の学習内容とめあてを確認する。

○ 本時は、あらかじめ選んでおいたメディアや情報の内容を、図に当てはめながら整理していくことを確認させる。

※ メディアや情報の種類については、テレビ番組やコマースィナル、新聞、雑誌、広告、インターネット等がありますが、その他のもので書きたい児童がいればそれも認めます。

※ まだ、決めていなかったり決められなかったりしている児童には、教師側でいくつか材料を用意しておきます。

2 構成メモに、メディアの内容を整理する。

○ 構成メモに、「題名」「選んだメディアの特徴」「『黒い部分』と『白い部分』」に当てはまる内容」「自分が考えたこと（意見）」をメモさせます。

※ なかなかメモが書けない児童には、教師側で具体的なもの（広告ちらし、インターネットの画面など）を用意しておき、メモの書き方について説明します。

※ ワークシートに直接書くか、四時目で使用したように付箋を利用させるかは、学級の実態に応じて判断します。

※ 「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる内容は、できるだけ具体的に、たくさん書かせるようにします。

※ 「白い部分」は想像して書くことになるので、必要に応じてヒントを与えます。

ヒント ・ちがう場所でも同じことが言えるか。

・ちがう時間でも同じことが言えるか。

・ちがう考えの人がさつ影すると、どのような場面になるのか。

※ 「黒い部分」と「白い部分」に児童の書いた内容がきちんと対応しているか、個別に指導します。

※ 早く終わった児童には、他のメディアでも思い付くことはないか投げ掛けます。

※ 早く終わった児童には、筆者の意見の述べ方の工夫（説明の技）を使える部分がないかを考えさせます。

※ 「自分が考えたこと（意見）」の欄には、そのメディアとの関わりについて考えたことを自分の言葉で書くように指示します。

評価 自分が選んだメディアや身の回りの情報について、「黒い部分」と「白い部分」の図に当てはめながら内容を整理している。
(読イ)

3 学習を振り返り、次時の学習に見直しをもつ。

○ 次時は、構成メモを基に意見文にまとめていくことを伝える。

メディアとわたしたちとのかかわりについて考えよう
めあて

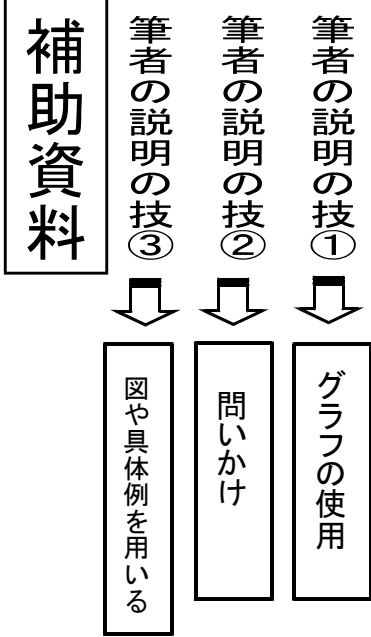
意見と具体例との関係に注意して、意見文にまとめよう。

○意見文にまとめるときの条件

- ① 『() とのかかわり方』という題名をつける。
- ② メディアの特ちょうについて書く。
- ③ 内容の「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる具体例を書く。
- ④ 自分が高上げたメディアについて具体例から言えること、今後のメディアとのかかわり方について自分の考えを書く。
- ⑤ 文末表現を工夫する。「() ではないでしょうか。」「() かもしれません。」など

☆「白い部分」のヒント ※想像してみよう

- ・ちがう場所でも同じことが言えるか。
- ・ちがう時間でも同じことが言えるか。
- ・ちがう考えの人がさつ影するとどのような場面になるのか。



【8 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」⑧
本時のねらい

- ① 意見と具体例との関係に注意させ、メディアとの関わりについての意見文をまとめさせる。
- ② 序論・本論・結論のまとまりを考えさせ、文章全体の構成を理解させる。

1 前時の学習を振り返りながら、学習計画表で本時の学習内容とめあてを確認する。

- 本時は、前時に作った構成メモを基に意見文にまとめ、時間があれば発表の練習も行うことを確認する。

2 意見文にまとめる。

- 条件に従って自分が選んだメディアについて意見文にまとめさせる。
以下の条件を提示して書かせていきます。

- ① 『() とのかかわり方』という題名を付ける。
- ② メディアの特徴について書く。
(メディアとの普段の関わり方等を書き加えてもよい。)

- ③ 内容の「黒い部分」と「白い部分」に当てはまる具体例を書く。
- ④ 自分が高上げたメディアについて具体例から言えること、これからのメディアとの関わりについて、自分の考えを書く。

- ※ ⑤ 文末表現を工夫する。「() ではないでしょうか。」「() かもしれません。」など
- ※ ③の「黒い部分」はメディアから得られる情報をそのまま書くとよいのですが、「白い部分」は想像して書くことになるので、必要に応じて板書のようなヒントを与えます。
- ※ これまで学習した筆者の意見の述べ方の工夫(説明の技)、筆者が用いている言葉をもとめた補助資料を提示します。

3 発表の練習をする。

- ※ 早く終わった児童には、必要があれば発表の際に使用する写真などの準備をしてもよいことを伝えます。

評価

① 意見と具体例との関係に注意して、意見文にまとめている。
② 文章全体の構成を理解している。

(読イ)
(言イ(キ))

4 学習を振り返り、次時の学習に見通しをもつ。

- 次時は、お互いに紹介し合い、メディアとの関わりについて考えを深めていこうと投げ掛ける。

メディアとわたしたちとのかかわりについて考えよう
めあて

これからのメディアとのかかわりについて考えを
深めよう。

○ 交流の方法

- ・学級を二つのグループに分けます。
- ・「発表する人」と「聞く人」は、交代します。
- ・できるだけたくさんの方の意見を聞くようにします。

○ 聞くときのポイント

- ・「黒い部分」と「白い部分」に分けて説明しているか。
- ・自分の考えを具体例を挙げてしっかりまとめているか。
- ・筆者の説明の技を使っていたか。
- ・自分の考えと比べてみてどうか。

聞き終わったら、右のポイントをふまえて、分かりやすかったかどうかなどのコメントをしてあげましょう。

○ これからのメディアとのかかわり

すみずみまでよく見たり、見えない部分を想像したりしながら、メディアとのかかわっていくようにする。

【9 / 9 時間目 指導路案】 使用するワークシート「テレビとの付き合い方」⑨
本時のねらい

各自が書いた意見文を交流させることで、メディアとのかかわりについての考えを深めさせる。

- 1 前時の学習を振り返りながら、学習計画表で本時の学習内容とめあてを確認する。
○ 本時は、それぞれが書いた意見文を学級全体で交流し、メディアとのかかわりについて、自分の考えをまとめていくことを確認させる。

2 意見文を交流する。

- まず、グループ内で意見文を紹介させる。
- その後、学級を「発表する側」「聞く側」の二つに分け、時間を区切って交代させる。

※ 聞く側には、「聞くときのポイント」を提示し、観点をもたせて発表を聞かせます。

※ 聞く側には、「聞くときのポイント」に基づいてコメントするように伝えます。

3 これからのメディアとのかかわりについて考えを書く。

- これから自分が様々なメディアとのかかわりについていくかをまとめさせる。

4 これからのメディアとのかかわりについて全体で交流する。

- 数人に発表させ、学習のまとめとする。

評価 意見文を交流することで、これからのメディアとのかかわりについて考えようとしている。

(関)

5 単元全体の学習を振り返る。

- これまでのワークシートや意見文を各自で再度読ませ、単元で学んだことを発表させ、学習のまとめとする。

○○○そうです

どうだったでしょうか

切り取る

結果が出ています

意図

イメージ

○○○のおかげで

いずれも

○○○さえあります

錯覚

また

分かったつもりになる

具体的に

それどころか

○○○でしょう

ほんの一部

しかし

○○○してみましよう

事実

すると

○○○するとします

情報

むしろ

○○○かもしれません

印象

これに対して

もし○○○だとしたら

位置

このように

みましよう

角度

ないでしょうか

部分

メディアについてのアンケート

5年 名前



メディアとは、テレビや新聞、雑誌、インターネットなど、わたしたちに様々な情報を伝えてくれる手段のことです。

- 1 あなたは、いろいろな情報を得るために、どのようなメディアを利用していますか。一番よく使うものを教えてください。

- 2 あなたは、そのメディアを1日にどれくらい利用していますか。

平日

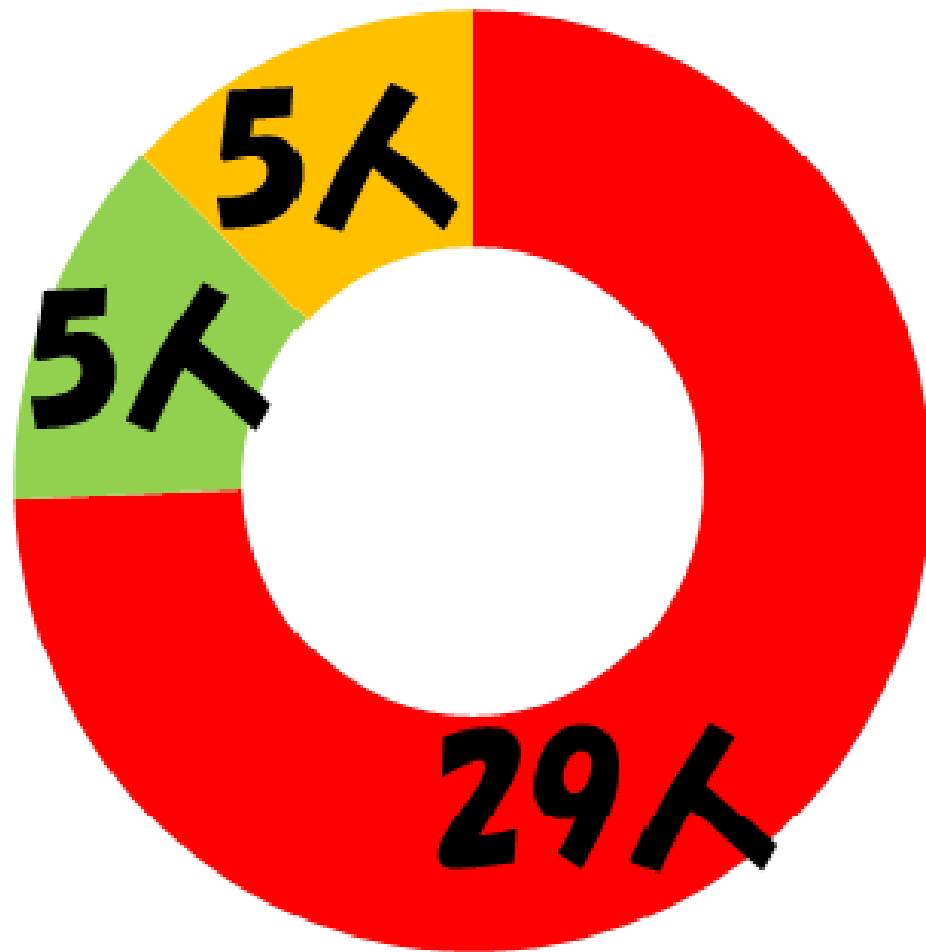
 時間

土・日

 時間

- 3 あなたが、そのメディアについて思っていることや感じていることを書きましょう。

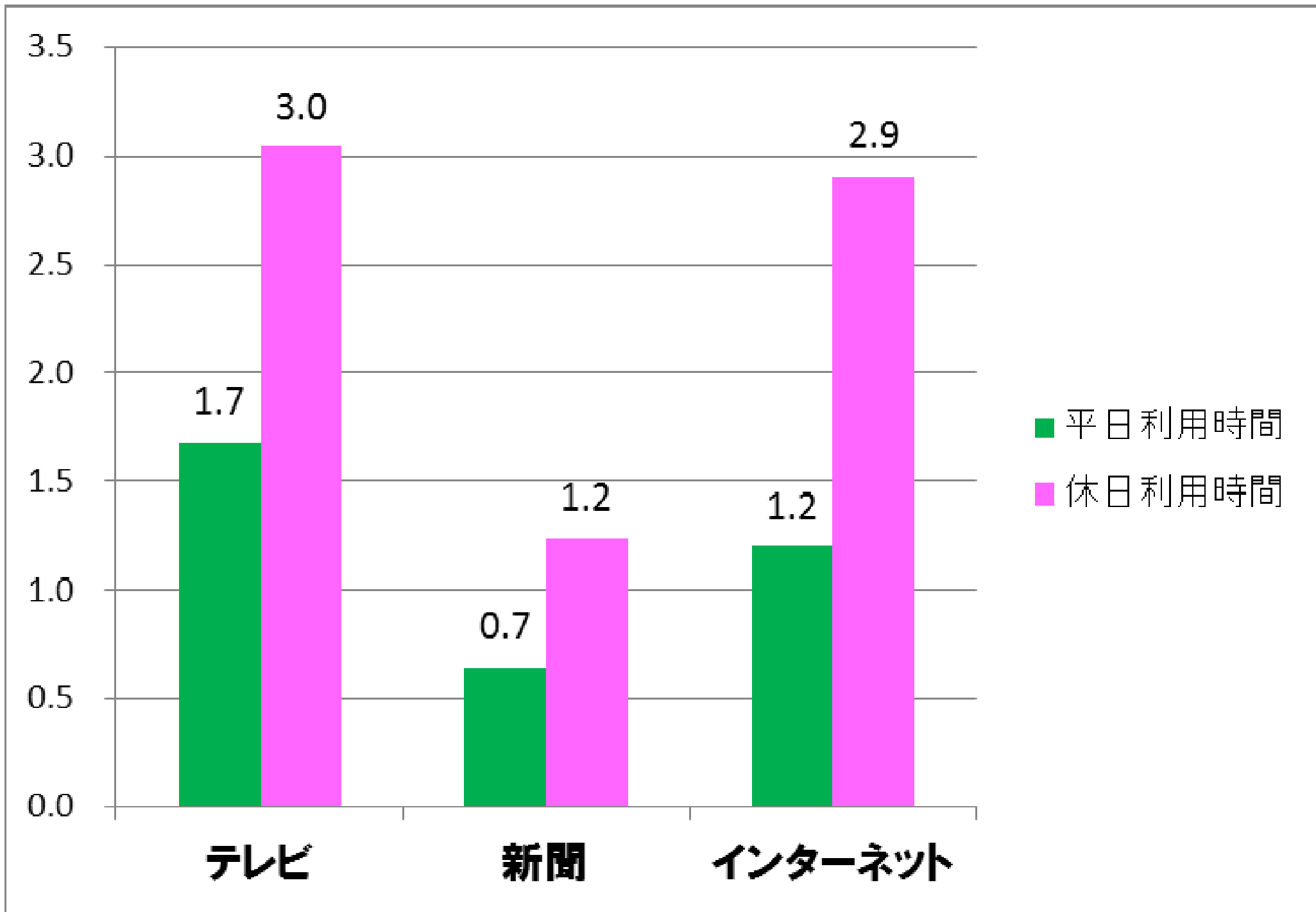
メディアの利用傾向(5-1)



■ テレビ

■ 新聞

■ インターネット



インターネットについて

思っていることや感じていること

- 検索(けんさく)すれば情報がたくさん出てくる
- 自分に合わせた時間で調べることができる
- 自分が思いつかないこともたくさん出てくる
- 調べたいことがすぐ分かる

新聞について

思っていることや感じていること

- どこで何が起きたかいろいろな情報が子どもにも分かるように書いてある
- いろいろな事をする事ができる
- 佐賀県での事故など分かる
- 時々分からないこと、なっとくできないことがある
- 一つ一つの情報をわかりやすく教えてくれる
- 分からない漢字がたくさんある

テレビについて

思っていることや感じていること

- 映像で伝えてくれる
- ニュース番組で、スポーツの結果や事故、地域の取り組みなどを伝えている
- ニュースで「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「どうした」などはっきり伝えてくれる
- 興味を引く伝え方をしている
- なぜ、日本以外の情報を伝えているのだろうか
- 読まなくていいから便利

- **ニュース以外の情報がたくさんある**
- **どんどん出てくる文字を最後まで読み切れない**
- **テレビで伝えてあることが本当なのか少し心配**

めあて

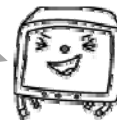
文章構成を考えよう。

1 「テレビとの付き合い方」を序論・本論・結論の三つ部屋に分け、序論と結論の小見出しを考えよう。

文章構成表

結論	本論		序論	構成
	本論2	本論1		
⑦	⑥ ⑤	④ ③	② ①	表紙 小見出し
<ul style="list-style-type: none"> ○ 終わりのまとめ ○ 問いの答え ○ 筆者の主張・読者へのメッセージ など 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体例 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筆者の意見 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話題の提示 ○ 問いの投げかけ ○ はじめのまとめ など 	

1 学期に学習した説明文の構成について、思い出しましょう。



2 「テレビとの付き合い方」の本論を分け、小見出しを考えよう。

★ 今日の学習をふり返りましょう。

◎ よくできた

○ だいたいできた

△ もう少し



文章構成を考えることができましたか。

◎ ○ △

めあて

文章構成を考えよう。

1 「テレビとの付き合い方」を序論・本論・結論の三つ部屋に分け、序論と結論の小見出しを考えよう。

文章構成表

結論	本論	序論	構成
			形式段落
			小見出し

1 学期に学習した説明文の構成について、思い出しましょう。



2 「テレビとの付き合い方」の本論を分け、小見出しを考えよう。

★ 今日の学習を、くり返りましょう。

◎ よくできた

○ だいたいできた

△ もう少し



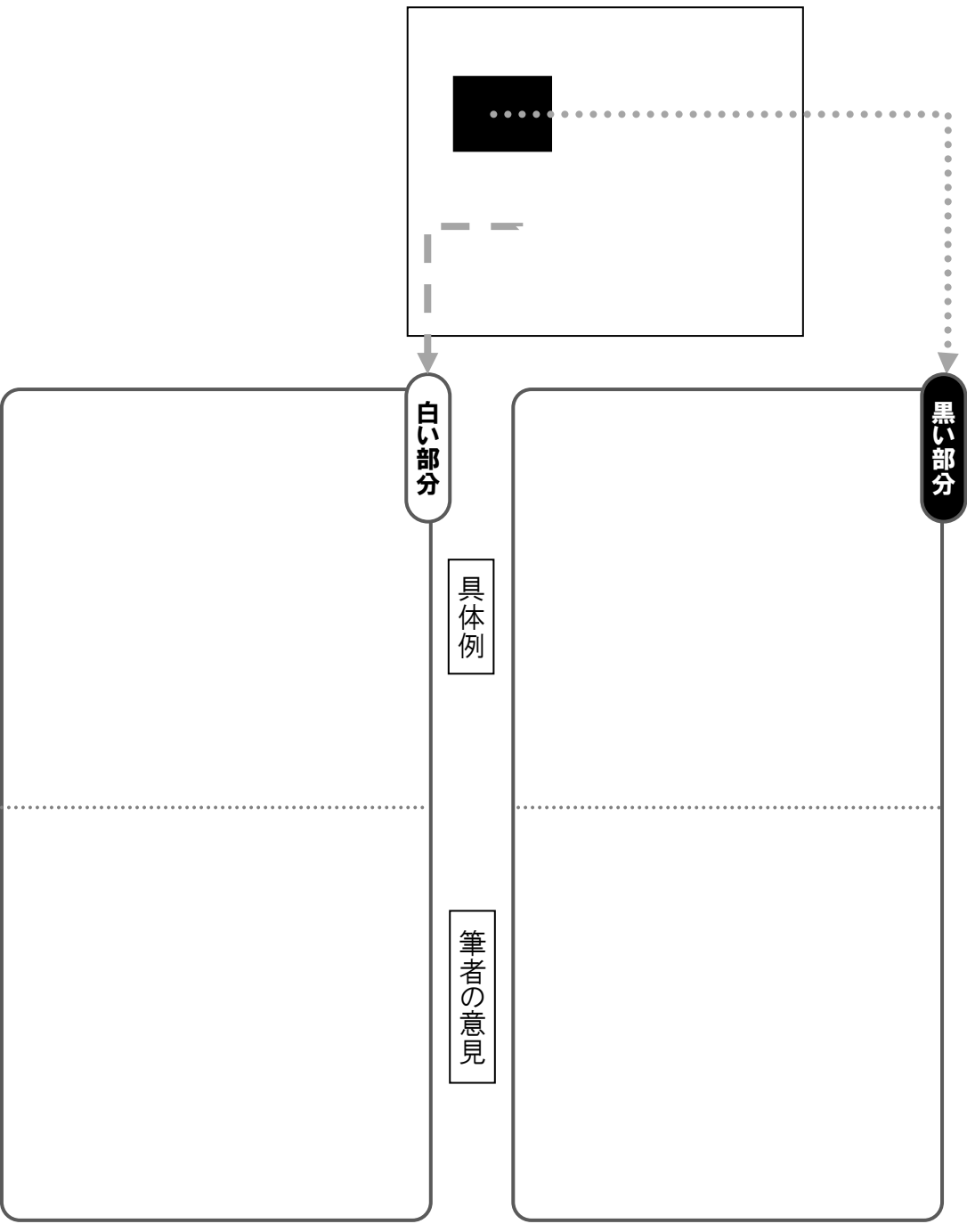
文章構成を考えることができましたか。

◎ ○ △

めあて

本論部分を読み取り、筆者の説明の技について考えよう。

1 「黒い部分」と「白い部分」にあてはまる言葉を整理しよう。



2 筆者が図を使って伝えたかったことをまとめよう。

Blank area with two vertical dashed lines for notes.

筆者の説明の技 ③

効果

★ 今日の学習をふり返りましょう。 ◎よくできた ○だいたいできた △もう少し

筆者の説明の技とその効果について考えることができましたか。

◎ ○ △

めあて

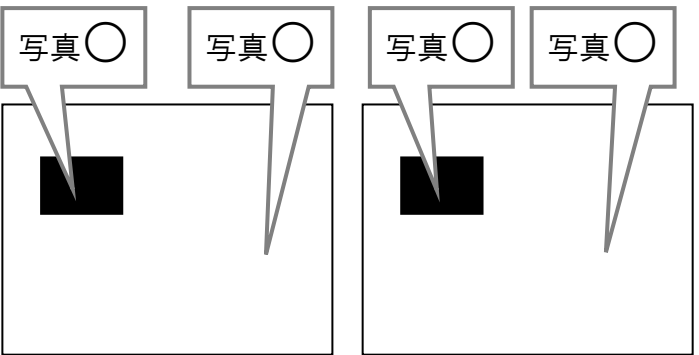
資料「写真の伝わり方」の内容を、「黒い部分」と「白い部分」を使って説明しよう。

1 資料「写真の伝わり方」での筆者の考えを読み取ろう。

筆者が伝えたかったこと

このように

2 「黒い部分」と「白い部分」の図を使って、資料「写真の伝わり方」の内容を説明しよう。



あなただけの書き場

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

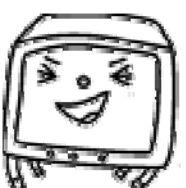
~~~~~

あなたは四枚の写真を「黒い部分」と「白い部分」に分けて説明しますか。それとも、写真①と②、写真③と④に分けてから説明しますか。

3 「テレビとの付き合い方」と資料「写真の伝わり方」に共通して言えることをまとめよう。

「黒い部分」は () を表していて、

「白い部分」は () を表している。



★ 今日の学習をふり返りましょう。

◎よくできた

○だいたいできた

△もう少し



「黒い部分」と「白い部分」の図や写真を使って説明することができましたか。

◎ ○ △

めあて

意見文にまとめるための構成メモをつくろう。

構成メモ

○ 題名

とのかかわり方

○ 選んだメディア
の持ちよう

黒い部分

白い部分

具体例

そこから言えること

想像してみよう

- ・ ちがう場所でも同じことが言えるか。
- ・ ちがう時間でも同じことが言えるか。
- ・ ちがう考えの人がさつ影すると、どのような場面になるのか。

○ 自分が考えたこと (意見)

★ 今日の学習をいり返りましょう。 ◎よくできた ○だいたいできた △もう少し



筆者の説明の技を参考に、意見文にまとめるための構成メモをしよう。できたか。

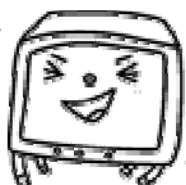
◎ ○ △

めあて

意見と具体例との関係に注意して、意見文にまとめてみよう。

1 意見文にまとめてみよう。

- ① 『()』 () のかかわり方』という題名をつけましょう。
- ② メディアの持ちようについて書きましょう。
- ③ 内容の **黒い部分** と **白い部分** に当てはまる具体例を書きましょう。(説明の技③)
- ④ 自分を取り上げたメディアについて具体例から言えること、これからのメディアとのかかわりについて自分の考え(意見)を書きましょう。
- ⑤ 文末表現を工夫しましょう。「〜しないでしょか。」「〜しましょう。」「など」(説明の技②)



A large writing area with a solid top border and a dotted bottom border, intended for the student to write their opinion text.

★ 今日の学習をふり返りましょう。

◎ よくできた

○ だいたいできた

△ もう少し



筆者の説明の技を参考にして意見文にまとめることができましたか。

◎ ○ △

